

大学のボランティアセンターが 地域とつながる実践を展開してゆくと 何が変わるのか -10年間の歩みを振り返る-



大阪府立大学にボランティアセンターが
設置されてからおよそ10年が経過しました。

その間に行われた実践により、
学生、地域、自治体等はどう変わってきたのでしょうか。
様々な角度からの報告を通じて、皆様とともに検討する集いを開催いたします。

パネラー

松居 勇 (大阪府立大学 ボランティア・市民活動センター)
学生スタッフ (同センター)
松浦 宏樹 (NPO法人み・らいず)
西川 孝雄 (堺市白鷺校区住民)
千福 清英 (千早赤阪村 下赤阪棚田の会)
佐藤 健吾 (堺市 市民協働課 市民協働係)

司会

吉原 雅昭 (大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類)

終了後
希望者はセンターの
短時間見学ツアーあり！



2020年

定員
先着150名

参加費
無料

2月9日(日) 13:00~16:30 (受付12:30~)

大阪府立大学 中百舌鳥キャンパスB3棟 117室

申込

メールにて、件名に「2/9公開講座」と表記の上、
(1)氏名 (2)フリガナ (3)ご所属を記入し、2/6(木)までにお申込ください。
【送信先】 kouza29@ao.osakafu-u.ac.jp

主催：大阪府立大学 教育福祉研究センター ボランティア・市民活動センター
共催：大阪府立大学ソーシャルワーク開発研究所・大阪府立大学社会福祉学会